栃木県・鬼怒川温泉

あさや

貸切風呂がオープン

栃木県鬼怒川温泉の老舗旅館「あさや」（木藤一男社長）は、自家源泉からわき出る湯量豊富な温泉と、同温泉で最も高い場所に位置する空中庭園露天風呂から眺める景色が自慢の宿だ。今年12月には待望の貸切風呂がオープン、設備がさらに充実する。

貸切風呂は「福満宝尽くし　吉祥「『打ち出の小槌の湯』」という、何ともおめでたい名前。「不景気な時代、あさやで福を授かりお帰りいただこうと、振れば願いごとが叶う『打ち出の小槌』をテーマにしました」と同館。

浴槽タイプが異なる4室。それぞれ「宝珠（ほうじゅ）」「宝鍵（ほうやく）」「丁子（ちょうじ）」「隠笠（かくれがさ）」という名前を付けた。利用は50分4千円で、日帰り客も利用できる（別途日帰り入浴料金が必要）。12月30日のオープン予定。

湯は昔から「火傷の鬼怒川、怪我の川治」と言われ、肌によい温泉として定評がある。特に同館の源泉は「子宝の湯」と命名され、女性に優しい様々な効能があると言われている。

▽栃木県日光市鬼怒川温泉滝813。☎0288・77・1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

貸切風呂

北海道・登別温泉

登別温泉郷　滝乃家

北海道内最古の露天風呂

1日1万㌧の豊富な湧出量と10種類近くの多くの泉質から、「温泉のデパート」と呼ばれる北海道登別温泉。滝乃家（須賀秀郎社長）は、創業大正6年、100年近い歴史を誇る同地を代表する老舗旅館だ。

2千坪の広大な日本庭園と、道内で最も早く開設されたという露天風呂が自慢。宿の名に配した「家」の字には、「訪れた人々のゆるやかで温かい郷里、安息の家のようにありたい」との思いが込められており、そのもてなしにも定評がある。

同館では登別のバラエティ豊かな温泉のうち、4種類を利用している。最上階の露天風呂「雲井の湯」は、食塩泉と鉄泉。登別の自然の樹林を望み、「目に飛び込む自然が絵画のよう」と形容されるほどの絶景。開放感と合わせて、湯面に映る自然の情景も美しい。

地階の「地縁の湯」の露天風呂は、「雲井の湯」と泉質が異なるラジウム泉と硫黄泉。自然の木々に囲まれた野趣に富んだ湯どころだ。「地縁の湯」の内湯・大浴場からも、周囲の絶景を楽しめる。

「我が家のようで、隠れ家のようでもある」という客室は全7タイプ。中でもお薦めなのが、源泉かけ流しの露天風呂付きタイプだ。「Dタイプ」10室は和洋室。開放的なウッドデッキを設え、デッキ横に露天風呂を設置。名湯をプライベート空間で楽しめる。

「DWタイプ」2室は92平方㍍の広さを持つハイクラスの和室。食事専用の部屋が特設されている。

女性向けにトリートメントサロンも備えている。自家温泉水をベースにシラカバ樹液など北海道産エキスを加えた同館オリジナルのゲルで肌を優しく補修してくれる。フェイシャル（顔）とフット（足）のマッサージメニューも充実している。

▽北海道登別市登別温泉町162。☎0143・84・2222。http://www.takinoya.co.jp/

客室露天

地縁の湯

山形県・蔵王温泉

深山荘高見屋

源泉かけ流しの湯を24時間

日本武尊の東征に従った吉備多賀由により発見された吉備多賀由温泉（最上高湯）温泉は、日本最古の温泉地のひとつ。1日8700㌧という豊富な湯量を誇り、湯治やスキー、蔵王名物の樹氷とお釜の観光に訪れる客で年中にぎわっている。今年で開湯1900年。年間を通じて様々なイベントが催されている（名湯名山開湯1900年・蔵王温泉観光協会HPhttp://www.zao-spa.or.jp/）。

深山荘高見屋（岡崎彌平治社長）は、蔵王温泉で5軒の宿泊施設を展開するタカミヤホテルグループの老舗旅館。創業は享保元年（1716）。温泉街の最も奥の高台にあり、当時と変わらない純和風のたたずまいをみせる。同館ではタイプの違う9つの風呂のすべてが源泉かけ流し。湯量が豊富で、24時間、いつでも入浴できるのが魅力だ。

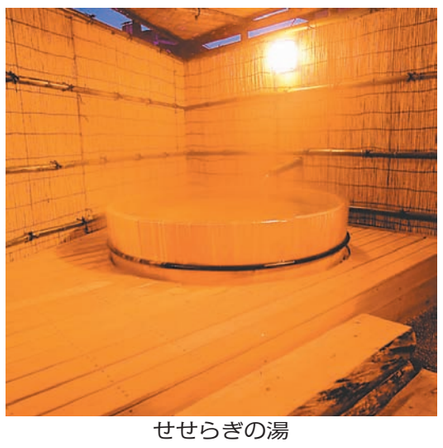
本館1階の「長寿の湯」は、創業当時を思わせる昔ながらの木造の内湯。「離庵山水」1階の「せせらぎの湯」も、石づくりの露天風呂や露天桶風呂、ひのき湯、足湯が独自の趣をかもし出す。

貸し切り風呂は、露天「吉備多賀湯」と「山の慈（めぐ）み湯」。泉質は「含硫化水素強酸性明ばん緑ばん泉」で、胃腸病、眼病、傷のほか、美肌効果もあると評判だ。特に女性客に喜ばれそう。

接客サービスにも力を入れている。岡崎純子女将は「いまの建物は294年目ですが、老舗旅館ならではの伝統を生かし、時代時代に合わせたおもてなしでお客さまをお迎えいたします」と話す。

「お客さまは大切な時間を当館でお過ごしいただくわけですから、心から寛いで、喜んでいただくために私たちは努めていかなければなりません。そんな精神を皆が忘れずに、徹底しています」。常連客の多さからも接客レベルの高さが垣間見られる。

▽山形県山形市蔵王温泉54。☎023・694・9933。http://www.zao.co.jp/main.html


せせらぎの湯

源泉かけ流し、創業以来こんこんとわき続ける「長寿の湯」

山梨県・石和温泉

富士野屋夕亭

全館かけ流しの温泉

都心から1時間半という好アクセスながら、温泉と名物「ホロホロ鳥料理」が楽しめる宿として知られる山梨県石和温泉の富士野屋夕亭（河野暢子社長）。同館は石和温泉の豊かに湧出する温泉を満喫できる宿としても人気を集めている。

同館の風呂の売りは「全館かけ流し」。内湯と露天風呂を併設した趣の異なる3つの大浴場、5つの客室露天風呂、2つの貸し切り露天風呂はもちろん、全客室の内湯まですべてに循環させないかけ流しの温泉を引いている点。大浴場併設のミストサウナにも温泉を利用する。アルカリ性単純温泉ながら湯の花が浮かびわずかに硫黄の香りのする温泉は、くせのない柔らかな感触が好評だ。

ジェットバスとひのき風呂が楽しめる屋上の貸し切り風呂は、南アルプスなどの山々を望める眺望が自慢。4月上旬には、満開の桃の花で桃色に染まった甲府盆地の眺めを、温泉につかりながら楽しむことができる。

▽山梨県笛吹市石和町八田286。☎055・262・2266。http://www.fujinoya.co.jp/

庭園に面した客室露天風呂（102号室）

栃木県・湯西川温泉

本家伴久

清流が手の届く場所に

深山幽谷の平家ゆかりの里、栃木県湯西川温泉の「本家伴久」（伴輝彦社長）は、平家落人の流れをくむ宿。同温泉〝発祥の地〟だ。今から820年前に発見されたと言われる湯西川の源泉は、同館の露天風呂「藤鞍（ふじくら）の湯」が、まさにその場所。代々その湯を守り、湯治客を迎えてきた。

源泉かけ流しの露天風呂は、湯西川の清流が目の前の、手の届きそうな場所にある。肩まで温泉に浸かり、そっと目を閉じれば、川のせせらぎや鳥のさえずり、山の鼓動が聞こえてきそうだ。

清流の目の前には3つの貸切露天風呂もある。大浴場・露天風呂とは離れた場所にあるので、ひと味違った趣を味わえる。

清流沿いの貸切露天風呂付き客室は1日3組限定。貸切露天風呂はともに、「特別な日、特別な方とゆったりとした時間を過ごしていただきたい」との思いを込めている。春に生命の息吹、夏に川面を泳ぐ魚たち、秋に関東一と言われる紅葉、冬に深々と積もる雪景色と、それぞれに違った風情を楽しめる。

温泉の泉質はアルカリ性単純温泉。神経痛、筋肉痛、疲労回復、慢性婦人病などに効くと言われる。

宿でのもうひとつの楽しみ、料理は名物の囲炉裏会席。新鮮な山の幸をふんだんに使っている。竹酒やにごり酒、手作りの果実酒を、囲炉裏を囲んで酌み交わすのはまさに至福のひとときだ。

湯西川に自生する山椒をぜいたくに混ぜた「薬膳十味唐辛子」は宿の自慢の逸品。夕げの薬味に利用されるほか、土産品としても宿泊客から好評だ。

古い歴史を持つ宿だが、近年は環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を取得するなど、最先端の取り組みも行っている。

▽栃木県日光市湯西川温泉749。☎0288・98・0011。http://www.bankyu.co.jp/

湯西川の清流を目の前に

相生露天付き部屋

岐阜県・下呂温泉

川上屋花水亭

彩り変える山を借景に

岐阜県下呂温泉にある川上屋花水亭（川上裕惟社長）は、温泉街から少し離れた飛騨川沿いにある落ち着いた雰囲気の数寄屋造りの宿。竹林を抜けて館内に入ると、静寂とゆとりの感じられる隠れ家のような落ち着いた空間が広がっている。

下呂温泉「飛之湯」は、一羽の傷ついた白鷺が川辺に舞い降りゆのありかを告げたという伝説が残っている。千年の時を経て湧き出る名泉は、日本三名泉の一つだ。泉質は、アルカリ性単純温泉。

同館の露天風呂「河原の湯」は、季節ごとに彩りを変える山々の稜線を借景に温泉が楽しめる。10月末から11月中旬は真っ赤に色づいた紅葉を愛でながらの湯浴みが楽しめる。

貸し切り風呂「飛之湯泉」は、木の香りが漂う総檜の浴槽。趣のある東屋も備えた和の情緒があふれる空間。友人や家族でゆったりと寛げる。

大浴場にある内風呂は源泉かけ流しで、名湯を堪能できる。

▽岐阜県下呂市湯之島30。☎0576・25・5500。http://www.kawakamiyakasuitei.jp/

露天風呂「河原の湯」

群馬県・水上温泉

源泉湯の宿　松乃井

「生オンセン」を味わう

群馬県水上温泉の「源泉湯の宿　松乃井」（戸澤千秋社長）は、自家源泉を4本所有し、温泉を加水なしの源泉かけ流しで利用している。湯殿の底から源泉をわき上げさせる「湧湯」は、まさに生の温泉。同館では、その魅力を多くの人に知ってもらおうと、自館の温泉を「生ONSEN'S」（生オンセン）とネーミングし、09年に商標登録した。

泉質は刺激が少なく肌に優しい弱アルカリ単純泉。「美肌の湯」「美人の湯」と呼ばれ、特に女性客に喜ばれそうだ。神経痛、筋肉痛、冷え性、疲労回復など、様々な疾病にも効くという。

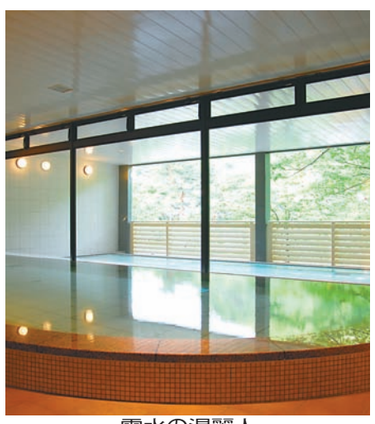
大浴場、露天風呂、貸切風呂と、館内施設も多彩だ。新設の大浴場「雲水の湯」は広々とした湯浴処。女性用「麗人」はミストサウナとナッピングルーム（暖休憩室）、男性用「賢人」は高温サウナとナッピングルームを備える。

宿でのもうひとつの楽しみ、料理は名物の囲炉裏会席。新鮮な山の幸をふんだんに使っている。竹酒やにごり酒、手作りの果実酒を、囲炉裏を囲んで酌み交わすのはまさに至福のひとときだ。

湯西川に自生する山椒をぜいたくに混ぜた「薬膳十味唐辛子」は宿の自慢の逸品。夕げの薬味に利用されるほか、土産品としても宿泊客から好評だ。

古い歴史を持つ宿だが、近年は環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を取得するなど、最先端の取り組みも行っている。

▽栃木県日光市湯西川温泉749。☎0288・98・0011。http://www.bankyu.co.jp/


雲水の湯麗人

庭園を眺める露天風呂

兵庫県・有馬温泉

兵衛向陽閣

「最古の温泉」を堪能

兵庫県神戸市の有馬温泉にある兵衛向陽閣（風早和喜社長）は、創業700年の老舗旅館。長い歴史の中で培われたおもてなしが旅客に好評だ。

有馬温泉は日本最古の温泉。日本三古泉、日本三名泉に数えられる。赤茶色をした名湯「金泉」は、館内すべての湯処で楽しめる。

大浴場「一の湯」は、格子天井が美しい和風の大浴場で、サウナも完備。照明は控えめでゆったりと入浴できる。

「二の湯」は、一の湯とは対照的な、洋風の大浴場。浴槽の周りには、ローマ風の柱をシンメトリーに配置し、幻想的な空間を演出する。

渡り廊下でつながった別棟にある「三の湯」は、昔懐かしい湯治場の雰囲気を再現。内湯と露天風呂との間に設けられた、開閉式のガラス戸を開くと、浴室全体が開放感あふれる半露天風呂風になる。

外湯には野趣あふれる岩風呂の露天風呂をはじめジャグジーがある。また同じ棟内には貸切露天風呂があり、まさに温泉ざんまいを堪能できる。

▽兵庫県神戸市北区有馬町1904。☎078・904・0501。http://www.hyoe.co.jp/

大浴場「二の湯」